

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 2020 年 稲作報告 ①

今年、TOREK 自然農法普及員として、各地を訪問することの厳しい年でした。コロナ騒ぎで、生産者の中には、医療従事者のご家族がいらしたり、地域柄、周り近所を気にされる所もあり、訪問が思い通りに叶わず、電話連絡等が多くなりました。

そんな中で、2019 年に、長野きじま平の堀さんと、手伝いの北條氏の取り組みによる徹底した除草によって、悩まされていたクログワイという雑草が、生えてこない田んぼが 1 枚出来た後、2020 年は、農林 48 号の田んぼで、大収穫へ繋がった所を共にお手伝いさせていただきながら、立ち会うことができました。本当は、除草している段階から、体験学習や圃場見学を行い、多くの人に見せてあげたかったです。雑草が弱る様子、稲が強くなっていく様子、分けつする様子、出穂した様子、そして黄金に輝く姿は、超感動的でした。こんなときに皆を連れていけないなんて、本当に残念でした。しかし、堀さんが TOREK に映像を残してくださったので、見てない方はぜひ見てください。

また同じく、長野のきじま平から佐藤正市さんが、2019 年は雑草が大変でしたが、ブラウ耕と除草機に力を入れて(すごく気持ち入れて)、無施肥無農薬で満足に収穫できました。肥料を入れなくてもよく育つことの喜びの声を聴かせていただきました。そのコシヒカリの味は「いいね!」。今年は皆さんに販売できることになりました。(…以下次号につづく) (自然農法普及員 野中康次)



長野県きじま平 農林 48 号

## 自然農法 22 年の歩み ②

千葉県 金野哲士

造園業者さんに機械で木立のような雑草を刈り取ってもらった後は、残った雑草の株元を自分で草刈り機で刈り、残がい片付け、その後、自然農法の仲間である斉藤さんがトラクターを持ち込んでかけてくれ、大変助かりました。友達はとても良いものです。感謝しています。

その後、掘り起こされた木の根っこを拾い、小さな耕運機で整地し、やっと畑を始められる状況にまでなりました。ずっと使われていない畑なので肥毒もなく、良かったのですが、最初の 1 年は土が野菜を育てる力がないのか、うまく育たなかったように思います。

以前から、小松菜の作付けをしていましたが、いつも虫害で満足のいくようなものが出来ませんでした。新しい畑で試してみようと思い、始めました。最初の 1 年はうまくいきませんでした。2 年目には、時期が良かったのかもしれませんが、とてもきれいな小松菜が出来、感動しました。小松菜に対する意識も変わり、簡単ではありませんが、周年栽培可能な野菜なので、挑戦してみようと思立ち、始めました。季節の影響を受け、出来が良くないときもありますが、続けていくことが大事だと思っています。他の野菜もそうですが、小松菜が虫食いもなく、きれいで美しく育つと感動し、誇らしくさえ思ってしまう。

数年前から、自然農法の実践に興味を持ち始めた、親せきの吉野さんが手伝いに来てくれて、学んでおります。一昨年、研究者の道をやめて、自然農法に従事したいということで、昨年共同で運営しているように考えておりました。となると、農家になれるような畑



金野さんと吉野さん(右)

に広げたいと話していたところ、道を挟んだ向かいの畑の地主さんに、思い切って、畑を使わせてもらえないかと伺ってみました。すると、いとも簡単に承諾してくれ、早速その日のうちに 900 坪の畑をトラクターで耕してくれ、いつでも使えるようにしてくれ、2 人で感激しました。今までの 300 坪と合わせて 1200 坪の畑を使いこなせるか、現在奮闘中です。農家になるためにはまだ 300 坪足りませんが、今は与えられた環境で取り組み、もっと皆様に健康な野菜をお届けできるよう、頑張っていきたいと思っております。

また、屋号を「菜園金野」から、金野の「の」と吉野の「の」を合わせた、「ののファーム」として進めていこうと思っております。私は 73 歳になりましたが、吉野さんから 90 歳まで頑張れと背中を押されている有り様です。

22 年間、畑は何度も変わりましたが、支障なく実施することができ、「あなたは自然農法を続けていくんだよ」と言われているような気がしております。自然農法を始めた当初、急激に体重が落ちてしまったことがあり、糖尿病の可能性もあるかなと、不安に思うことがありました。しかし、土からのエネルギーを頂いているせいか、大変な状態になることもなく、続けていくことができました。真夏の炎天下でも体調を崩すことなく、動ける体にあることを感謝申し上げます。

TOREK の方々には、畑に足を運んでいただき、また販売の場所を設けていただき、育てていただき、ありがとうございます。今年はコロナで、なかなか自然農法の野菜をお届けできない状況になってしまいましたが、毎月の鎌ヶ谷頒布会、船橋グループや市川グループにも野菜を置いていただけることになり、ありがとうございます。いつも私たちの作った野菜を購入してくださる皆様、おいしいと思っただけのこととはとても励みになります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

そして自然農法を志す若い人たちを、これからも応援して下さるよう、よろしくお願いいたします。



## 主人の胃痛が改善! 東京都 木林さくら

主人は元々胃が弱く、頻繁に胃痛が起こるため、胃薬が常備薬でしたが、薬の副作用等を学んだのを機に処分しました。その後も胃痛はあり、ひどいときは食事でもできないほどでした。自然農法の野菜の美味しさを感じていたので、食卓にとり入れていたのですが、お米は経済的に難しく、市販品のままでした。しかし、主人は八王子でのお米の販売に関わらせていただき、生産者の皆さまや野中康次さんのお話を聞くなかで、大変なご苦勞をされながら作られた貴重なお米の価値に気付いたそうです。

念願叶って、昨年我が家のお米をすべて自然米に替えることができました。その後、ひどい胃痛はなくなり、食事を抜かなければならない状態にはなっていません。自然農法の作物は身体に負担なく受け入れられる素晴らしい食べ物なのだ、主人を通して実感させていただきました。

## 干し芋加工をお願いできて

千葉県 西山欣宏

昨年の 11 月ごろから、さつまいもを干し芋に加工してくれる人はいないだろうか? と思い探していました。加工会社はあるのですが、注文のロット数が多く、私たちの今の量では難しかったため、小ロットでできるところを探していました。

そんな中、新潟県小千谷市で、さつまいもの種類ごとの特徴をよく理解し、生産者一人一人のさつまいもを大切に扱ってくれる、心底さつまいもを愛している方を見つけました。この方にぜひ干し芋加工をお願いしたいと思い連絡をしたところ、快く引き受けてくれました。

干し芋を通して、一人でも多くの方に手軽に渡せる、食べて幸せな気持ちになってもらえる、そして人の役に立ってもらえるといいなあと思っています。自然農法の青果と共に加工品も販売させていただけるようになり、本当にありがたく感謝です。



## お知らせ (変更の可能性あります)

★ 自然農法頒布会 1 月 27 日(水)、2 月 15 日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)  
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>